緑丘トピックス

平成 28 年度
第 8 号
3月24日（金）発行

Date Midorigaoka High School 北海道伊達緑丘高等学校　TEL/FAX 0142-24-3021

兼好法師は斯く語りき

校長　吉瀬 献策

３月１７日、高校入試の合格発表当日。掲示板に合格者の受検番号が張り出されると歓声が沸き起こりました。飛び上がったりガッツポーズ、抱き合って喜びを共有する中学生たちや保護者の姿。web 上で合否を確認できる近年、一昔前の風景を目の当たりにするようで、これほどの人だかりと歓喜を態度に表す様子には些か驚きを覚えるほどでした。迎える学校関係者にあっては至福の瞬間なれど、同時に責任の重さに思い至りました。

その中にあって、受検生の母親となったかつての教え子の姿を認めました。夫婦共にクラス担任であり、親子二代にわたり本校を志願してくれたことへの感謝の気持ちとともに、今ここでその場面に立ち会えることの縁にこの上ない喜びを噛みしめ、しばし、その風景を眺めていました。

さて、管理職になると、保護者の方からのお叱りや「校長と直接会って話がしたい」とのリクエストに対応する機会が多くなります。対応した教諭が青ざめて相談に来るのですが、保護者の思いをきちんと傾聴し、事の経緯と今後の対応について丁寧に説明すると、ほとんどのケースで溜飲を下げてお引き取りいただけました。所謂、学校にもの申したいという状況の要因の多くに、保護者が当該教諭の生徒への対応に冷たさを感じたり、学校の対応に不誠実さを覚えることがあります。よくよく話を伺うにつけ、子どもや親の気持ちに寄り添っていないと思えることがままありお詫び申し上げました。親にとっては、我が子をどれだけ親身に思ってくれるか、そして、どれだけ真摯に向き合おうとしてくれるかが教員との人間関係において最も重要でしょう。親が子を思う気持ちは当然。必死の思いが感情的になるのも当たり前。同様に、我々教員も眼前の生徒の成長の手助けをしたいという強い思いは、誰しも一様に思っている感情です。この子をなんとかしたいという熱意と使命感をもってなんぼの教員です。そのことへの信頼が前提でなければ元も子もない話なれど、目の前の子どもに、保護者と教員が良い意味でムキになって関わりあっていきませんか？学校と保護者の関係が良好であるほど子どもはよく育ちます。そのために、十分に胸襟を開いて日頃から会話を持つ機会を得たいものです。

かつて、今よりももっと未熟な教員だった頃、生徒に痛ましい思いをさせました。親の一存で一方的に息子の就職内定の断りを企業に連絡した父親がいました。そこに至る経緯はいろいろあるのですが、家に出向くと酒臭い息にスイッチが入り激しい口論となりました。「センコウの分際で出しゃばるな」「息子を不幸にすんのかクソオヤジ」その横に、歳の離れた弟の手を握りうつむいている生徒の姿がありました。教員失格でした。

兼好法師をして、「もの言わぬは腹ふくるるわざなり」今年は、茶話会やバーベキューでもご一緒しませんか？

晴れ晴れと卒業式 146名が巣立ち

３月１日（水）、本校体育館にて「卒業証書授与式」が挙行され、第３２期１４６名の卒業生が次なるステージへと巣立っていきました。多くのご来賓や保護者の方々が見守る中、吉瀬校長から一人ひとりに卒業証書が手渡されると、卒業生たちは引き締まった表情でその重みをかみしめていました。校長式辞では、日々劇的に変化する多様な社会に生きる心の在り方として『想像力』の大切さが述べられ、本校で培った「創造・礼節・剛健」の校訓を胸に、大きく羽ばたいてほしいと激励しました。また在校生に対しても「文武不岐を合い言葉に、“チーム緑”で前進しましょう」と呼びかけました。

卒業生を代表して小林紗香さんが述べた答辞では、３年間の思い出が振り返られるとともに、家族や友人・先生方への感謝の言葉が綴られ、多くの涙を誘いました。最後に学校祭「合唱コンクール」の課題曲である『Amazing Grace』を全校生徒で合唱。式場の保護者から大きな拍手が沸き上がり、厳粛な中にも心温まる卒業式となりました。１４６名の卒業生の皆さん、伊達緑丘高校で過ごした思い出を宝に、今後も益々活躍してくれることを願っています。

〈平成28年度第3学年（第32期生）の進路合格状況　※3月17日現在〉

4年制大学・短期大学	専門学校	就　　職
国公立大 … ５ 名 私 立 大 … ６４名 短　　大 … ９ 名	看護専門学校 … １８名 その他専門　 … ４７名	民　間 … １８名 公務員 … ５ 名

粘り強く努力し合格を勝ち取った皆さん、おめでとうございます！

PTA・体文合同役員会 新年度へ向けて始動!!

３月９日（木）19:00 から、伊達市経済センターにおいて、年度末の「ＰＴＡ・体育文化後援会合同役員会」を開きました。今年度のＰＴＡ活動としては、学校祭に恒例の「ＰＴＡバザー」を出店したほか、11 月の研修旅行では５年ぶりに劇団四季のミュージカル観劇をコースに取り入れ、参加された方々に好評いただきました。その一方で「ＰＴＡとして行事に参加するなど、保護者が学校に出かける機会を増やしてはどうか」「保護者と先生方との交流が深まるよう、互いに参加率を高めたい」といった課題も指摘され、次年度は伝統行事であった「強歩大会」の復活や、ＰＴＡ組織の見直し・さらなる活性化を図っていくことで確認しました。

今後とも『チーム緑高』をスローガンに、学校・家庭がともに手を携え生徒のために取り組んでいく、魅力ある学校づくり・ＰＴＡ活動をめざしていきたいと思いますので、是非ともご協力のほどよろしくお願いいたします。

お知らせ★ぜひご参加ください★

平成29年度「PTA総会」を4月22日（土）に授業参観・保護者向け進路講演会・学年懇談と合わせて実施します。

よい撮り緑（どみどり）

Midorigaoka
2017年2月～3月

◆◇◆ 2月10日(金) ピア・サポート研修会(第2回)

生徒相互の助け合いや支援、リーダーシップの育成を図るため
生徒会やホームルーム役員が研修を行いました。

2月17日(金) 命の大切さ作文表彰 ◇◆◇◆◇◆◇

「命の大切さ作文コンクール（全国）」で本校２年生の東方あやのさんが
警察庁犯罪被害者室長賞を受賞し、伊達警察署長から表彰されました。

◇◆◇◆◇◆◇◆◇ 3月10日(金) 携帯マナー講座

１年生の生徒を対象に“ケータイ・スマホ”の使い方について
伊達警察署高附生活安全係長を講師に学びました。

3月11日(土) 演劇部自主公演 ◆◇◆◇◆◇◆◇◆

市内カルチャーセンターにて演劇部が自主公演を行いました。
部員の手によるオリジナル作品で笑いと感動に包まれました。

◇◆◇◆◇◆ 3月14日(火) 学校関係者評価会議

学校関係者・本校職員による評価会議を行いました。
今年度の教育活動における成果と課題について協議しました。

ホームページでも学校生活を紹介しています！

行事をはじめ、日々の生活や配付物（通信等）を日々公開・更新しております⇒ http://www.datemidorigaoka.hokkaido-c.ed.jp

4月の行事予定表

始業式・着任式・入学式 ⇒ 4月10日(月)
交通安全講話(全学年) ⇒ 4月20日(木)
PTA総会等に伴う登校日 ⇒ 4月22日(土)

日	曜	行事予定
1	土	年度始休業(～4月7日)
2	日	
3	月	
4	火	
5	水	
6	木	年度始職員会議
7	金	
8	土	
9	日	
10	月	【前期開始日】始業式・着任式、平成29年度入学式
11	火	対面式、スタディーサポート(1年)
12	水	分掌・生徒会ガイダンス(1年)
13	木	身体測定・写真撮影
14	金	携帯マナー講座(1年)、部集会
15	土	
16	日	
17	月	胸部X線・心臓検査(1年)
18	火	
19	水	尿検査1次(全学年)
20	木	交通安全講話(全学年)
21	金	歯科検診(全学年)
22	土	【生徒登校日】PTA・体育文化後援会総会、授業参観、保護者向け進路講演会、学年懇談
23	日	第1回道看模試(3年)
24	月	
25	火	内科検診(1年、2年AB組)
26	水	生徒総会議案審議
27	木	内科検診(2年CD組、3年)、尿検査2次、職員会議
28	金	振替休業(4月22日分)
29	土	昭和の日
30	日	
1	月	
2	火	生徒総会
3	水	憲法記念日
4	木	みどりの日
5	金	こどもの日
6	土	第2回公務員模試(3年)
7	日	第1回看護医療模試(3年)

★諸事情により変更となることもありますので、ご了承ねがいます。

保護者向け進路説明会 ～進学資金について～

３月１６日（木）18:00 から、本校視聴覚教室にて「保護者向け進路説明会」を実施しました。今回の説明会は「進学資金について考える」をテーマにＮＰＯ法人高校生進学支援の会・加藤勝氏を講師としてお招きし、受験から学費納入までの流れ、進学資金の準備について心得ておかなければならないこと、各種奨学金等についてくわしく説明していただきました。本校の永田進路指導部長からも、希望者が多い近隣の看護専門学校における費用や受験制度について説明し、参加された保護者の方々は熱心に耳を傾けていました。

今後もこれまで同様、進路説明会の機会を設けますので、是非ともご参加ください。また進路等についてお悩みや相談などありましたら、いつでも遠慮なく担任までお声かけください。